

# ファイト

No - 5

岩井 大 ファンクラブ機関紙(年4回発行)  
 発行者:岩井 淑  
 住所:〒262-0032  
 千葉県花見川区幕張町4-2 LM3-104  
 連絡先:Tel:043-272-0825 Fax:043-272-0825  
 URL:http://www5.ocn.ne.jp/~ku-chan/index.htm  
 Mail:iwai-8man@muse.ocn.ne.jp

## 8月5日・後楽園ホール 第5戦 第65回 東日本新人王トーナメント準々決勝 まさかの判定負け

2008年8月5日、岩井大のプロ第5戦は、後楽園ホールで開催された『第65回 東日本新人王トーナメント準々決勝戦』の第7試合で新日本大宮ジムの阿部隆臣選手を相手に戦われた。対戦相手の阿部選手は昨年の東日本新人王準決勝戦まで進出したボクサーフェイター型で戦績は7戦:5勝(1KO)1敗1分。

1ラウンド開始のゴングが鳴り、お互いグローブを合わせて試合開始。お互いの手の内を探り合いながらの左ジャブの応酬が続く。1ラウンドは大きな動きがなかったが有効打は大の方が多く、ポイントは大が取った。阿部選手はゴングが鳴っても興奮して大に殴りかかっていたのはポイントを取られたことの裏返しだったろう。

2ラウンド、3ラウンド、4ラウンドと進んで行ったが大のいつものように相手の出てくるところに左ジャブを決めながらフットワークで展開していくアウトボクシングの形がとれないまま阿部選手の手数に押される展開となった。

阿部選手はパンチが当たらなくても、とにかくパンチを繰り出すことにより相手の攻撃を防ぐという「攻撃は最大の防御」という戦いの鉄則に沿った戦い方をした。その結果、大は受け身となりパワーに押し切られる形で、まさかの敗戦につながってしまった。試合運びの拙さだ。

昨年12月の第4戦の勝利から8か月。今年の新人王戦に焦点を当て日常生活を自己節制し、練習を積み重ね、積極的に他ジムへもスパーリングに出かけ準備してきたが、大にとっては苦い試合となった。敗因をきちんと総括し、それを乗り越え、夢の実現に向けて前進していこう。

### 三谷会長の言葉

大は苦手なタイプとぶつかった。こういうこともある。大がこの試練をどのように乗り越えるかで将来が見えてくる。大はもっとハングリー精神を持たなければいけない。いつまでも落ち込んでいちゃあだめだ。新たな出発だ。



3ラウンド 左ボディ攻撃

「岩井 大 ファンクラブ」が発足しています

目的:岩井大選手を応援する。

会費:無料

特典: 会員証と会報がもらえる。

試合観戦時は親父手作りの「君は明日の  
 一だ」の応援ハンカチがもらえる。



1ラウンド 左ジャブの応酬

### 応援

【声援1】 F・Jさん

大君、僅差での判定負け残念でしたね。残念ですけど、単発的なパンチがヒット、相手のパンチがあたっていないでも、手数で負けていると、審判に良い印象を与えない、勝てないということが、良い勉強になったのではないのでしょうか？まだまだ若いし、この敗戦を糧にして、これからが楽しみですな。

【声援2】 T・Kさん

大君のボクシングは残念だったね。打ち負けてはいなかったように見えたけど、後半スタミナが切れちゃったかね。大君にはこの負けをバネにして頑張ってもらいたい。結構出血してみたいけど、それは大丈夫なのかな？ちょっと心配。三谷ジムの他の二人も応援したけど、三者三様、どの試合も熱かったなあ。

【声援3】 I・Mさん

これも大にとっては良い経験になったと思います。これからが勝負だと大に伝えてください。

【声援4】 T・Yさん

大ちゃんの試合を初戦から応援していて今日は悲しくなっちゃった。リングを降りるときタオルをすっぽり被って泣いていたんだよね。でもこれからだよ。応援するからね。大ちゃんの試合内容を話したら一度もボクシング見たことがない友だちも次の試合に応援に行くって。大ちゃん、頑張ってるね。

【声援5】 Y・Kさん

6日に仲間と飲む機会があり、その時に大君の試合内容を聞きました。残念な結果でしたが、まだまだ成長途中だと思います。これからの頑張りに期待します！

【声援6】 A・Hさん

今回、敗戦ということで無念だともいますが、まだ若いし今回の試合の結果を分析し、今後の勝利に向け精進してください。

【声援7】 T・Tさん

今日の試合は残念だったなあ。休みだったので家から出かけてきたけれど、久しぶりに後楽園ホールに足を運んだよ。ま・しょうがないよ。これからだから頑張ると伝えてよ。また応援に来るよ。

### おやじのひとこと

大は寮に入っているの、あまり会うことはありませんが、人間の品位・品性とは常日頃からの考え方や行動からおのずと生まれてくるものなので、志を高く持ち、それが実現できるような行動をとるように、自分への戒めを込めて話しています。